

急性心筋梗塞患者における心破裂の発生状況と予後調査、及びST上昇型急性心筋梗塞患者における心破裂予測モデルを構築する研究

当院及び京都府立医科大学附属病院ならびにその他関連病院では、急性心筋梗塞に併発する心破裂の治療実態や予後に関する臨床研究を実施しています。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

当院では、情報の提供のみを行います。

1. 研究の対象

2009年01月01日から2015年12月31日までの間に、京都府立医科大学及び関連病院に急性心筋梗塞で搬送され治療を受けられ、急性心筋梗塞レジストリ(京都府における急性心筋梗塞の実態調査)に登録された方

2. 研究目的・方法

京都府における急性心筋梗塞の発生率は人口10万人あたり50人程度とされています。急性心筋梗塞の院内死亡率はカテーテル治療の発展に伴い、20年前と比し低下傾向にあります。高齡化を背景にここ数年は改善に乏しく、院内死亡率は7~10%と依然高く推移しています。

急性心筋梗塞の急性期合併症である心破裂は、全急性心筋梗塞患者の1~3%程度で発生し、心破裂を併発するとその致死率は50%以上と極めて高率であると報告されています。今後、高齡化が進むと、急性心筋梗塞患者の死亡率が悪化することが予想されており、急性心筋梗塞の予後を改善するためには、致死率の高い急性期合併症である心破裂の発症を軽減する必要があると考えております。そのため、急性心筋梗塞患者における心破裂を初療の段階で迅速に予測する方法を構築することは、心破裂の発生を未然に防ぐための助けとなり、また急性心筋梗塞の予後改善に寄与するものと考えております。

そこで、京都府立医科大学附属病院と関連病院において既に急性心筋梗塞で搬送され治療を受けられ、過去に急性心筋梗塞レジストリ(京都府における急性心筋梗塞の実態調査)に登録されている患者様から、既に取得されている電子カルテ内の診療情報や検査結果を再度収集することになりました。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、身長、体重、既往歴、内服歴、搬送時身体所見、血液生化学検査、心電図、心臓超音波検査、冠動脈造影検査、発症後30日予後、院内予後、心破裂の発症日、心破裂の分類、手術の有無、入院経過の要約等

4. 外部への試料・情報の提供

京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室

対応表は、作成いたしません。

5. 研究組織

研究責任者：京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室 教授 的場 聖明

研究担当者：

京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室 准教授 中村 猛

京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室 助教 矢西 賢次

京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室 大学院生 庄司 圭佑

京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室 大学院生 川俣 博史

京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室 大学院生 藤岡 歩

京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室 特別研究員 湯川 有人

個人情報管理者：京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室 助教 矢西 賢次

個人情報分担管理者：京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室 大学院生 庄司 圭佑

京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室 大学院生 川俣 博史

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター 循環器内科 副院長 計良夏哉（当院窓口）

研究代表者：

京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室 教授 的場 聖明

-----以上